

平成 27 年度 事業報告書

1. 一般社団法人日本肝臓学会定款(以下「定款」という。)第 4 条第 1 項の規定に基づいて、学術集会を開催し、学術誌・学術図書を発行した。また、研究の奨励、研究業績の表彰等を行った。

(1) 学術集会の開催

- ① 総会・西部会を開催した。また、日本消化器関連学会(JDDW)の第 22 回日本消化器関連週間に第 19 回大会として参画した。

名称	期間・会場	会 長
第 51 回総会 参加者：3,020 名	平成 27 年 5 月 21 日(木)～5 月 22 日(金) 〈5 月 23 日(土)〉 熊本市：ホテル日航熊本他	佐々木 裕 熊本大学生命科学研究部 消化器内科学
第 19 回大会 参加者：21,534 名	平成 27 年 10 月 7 日(水)～10 月 11 日(日) 東京:グランドプリンスホテル高輪・新高輪	鹿毛 政義 久留米大学病院 病理部
第 41 回西部会 参加者：1,952 名	平成 27 年 12 月 3 日(木)～4 日(金) 名古屋市：名古屋国際会議場	吉岡 健太郎 藤田保健衛生大学肝胆膵内科

- 総会、部会の登録料を 15,000 円に値上げした。なお、第 41 回西部会から、初期研修の医師、コ・メディカル登録料を 5,000 円、学部学生を無料とした。

- ② 『第 2 回肝臓と糖尿病・代謝研究会』は日本糖尿病学会と連携して開催した。

第 2 回 肝臓と糖尿病・ 代謝研究会 参加者：459 名 肝臓学会 130 名	平成 27 年 5 月 23 日(土) 下関市：シーモールパレス 糖尿病学会第 58 回年次学術集会に開催。	谷澤 幸生 山口大学医学系研究科 病態制御内科学
--	--	--------------------------------

- ③ EASL- JSH workshop 2015 年 4 月 25 日(土) 14:00-15:30 ウィーン
座長：小池 和彦、senior speaker：工藤 正俊、junior speaker：山下 太郎(金沢大学)

(2) 学術誌・学術図書の発行

- ① 和文誌『肝臓』 第 56 巻 4 号～12 号、57 巻 1 号～3 号までの 12 号及び第 51 回総会、第 19 回大会、第 41 回西部会抄録を刊行した。
- ② 欧文誌『Hepatology Research』 Vol.45 No.4～12、Vol.46 No.1～3 の 12 号を刊行した。
うち Vol.45 No.10、Vol.46 No.3 は、オンライン出版とした。
2014 年 Impact Factor は 2.735 (前年から+ 0.517 アップ)

③ その他

- 7 月 1 日、『肝がん白書』を出版した。
東西支部事務局、理事・監事・幹事、全正会員、名誉会員、賛助会員、厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室、国立国際医療研究センター、肝炎診療ネットワーク都道府県連携拠点病院、日本肝臓病患者団体協議会などに送付し、HP にアップした。なお、メディアの請求にも応えて送付した。
- 7 月 15 日『肝癌診療マニュアル第 3 版』を医学書院から出版した。
- 9 月 11 日『NASH・NAFLD の診療ガイド 2015』を文光堂から出版した。

- 『肝炎治療ガイドライン』の改訂作業を継続した。
 - 5月27日、日本肝臓学会編『C型肝炎治療ガイドライン Ver.3.4』
 - 6月2日、日本肝臓学会編『C型肝炎治療ガイドライン Ver.3.4・簡易版』
 - 6月2日、日本肝臓学会編『B型肝炎治療ガイドライン Ver.2.1』
 - 8月5日、日本肝臓学会編『C型肝炎治療ガイドライン Ver.3.5』
 - 9月2日、日本肝臓学会編『C型肝炎治療ガイドライン Ver.4』
 - 12月7日、日本肝臓学会編『C型肝炎治療ガイドライン Ver.4.1』
- 『肝癌診療ガイドライン第4版』の発刊に向けて作業を開始した。
 - 7～8月に肝癌診療 GL 改訂統括委員会を開催して改訂委員を選考し、10月から3回にわたり肝癌診療 GL 第4版改訂委員会を開催した。
- 一般市民向けパンフレット改訂版『肝臓病の理解のために一肝がんにならないために何をすべきかー』（以下の5分冊）を作成した。
 - 「慢性肝炎・肝硬変」「B型肝炎」「C型肝炎」「ウイルス以外による肝臓病」「肝がん」
 - なお、医療従事者向けのパンフレット改訂版は作成中。

(3) 研究の奨励、研究業績の表彰

- ① 「織田賞（学会賞）」
 - 横須賀 収（千葉大学）に授与した。
- ② 「研究奨励賞」を以下の7名に授与した。
 - 厚川 正則（日本医科大学千葉北総病院 消化器内科）
 - 岡野 宏（鈴鹿中央総合病院 消化器内科）
 - 菅 宏美（広島大学 消化器・代謝内科）
 - 小暮 高之（東北大学病院 消化器内科）
 - 田尻 仁（大阪府立急性期・総合医療センター 小児科）
 - 富田 恭子（山形大学医学部 内科学第二講座（消化器内科））
 - 物江 恭子（JA 福島厚生連 高田厚生病院 内科）
- ③ 日本肝臓学会機関誌 High Citation 賞を以下の5名に授与した。
 - 肝臓 1篇
 - 村上 英介（広島大学）
 - Hepatology Research Review article（含 Special Report） 2篇
 - 橋本 悦子（東京女子医科大学）
 - 杉本 和史（三重大学）
 - Hepatology Research Original article（含 Short Communication、Case Report） 2篇
 - 小橋 春彦（岡山赤十字病院）
 - 森本 学（神奈川県立がんセンター）
- ④ 国際学術集会の参加者に対する旅費等の助成を行なった。

高野 啓子	（東京慈恵会医科大学附属病院 消化器肝臓内科）	DDW
濱口 雄平	（京都大学 肝胆膵・移植外科）	ILTS
秦 咸陽	（理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター）	ILCA
草間ひろみ	（順天堂大学院医学部 消化器内科）	AASLD
小泉 洋平	（愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学）	AASLD

中井 正人	(北海道大学病院 消化器内科)	AASLD
大西 良輝	(大阪大学大学院 消化器内科学)	AASLD
金子 俊	(東京医科歯科大学 消化器内科)	AASLD
長谷部拓夢	(旭川大学 消化器・血液腫瘍制御内科)	AASLD
千田 剛士	(浜松医科大学医学部 肝臓内科)	AASLD
宮川恒一郎	(産業医科大学 第3内科学)	AASLD
安斎 和也	(東海大学医学部附属病院 消化器内科)	AASLD
田中 崇	(福岡大学病院 消化器内科)	AASLD
松田 崇史	(山口大学大学院 消化器病態内科)	AASLD
谷本 信仁	(慶應義塾大学 内科学)	AASLD
飯尾 悦子	(名古屋市立大学 消化器代謝内科)	AASLD

⑤ 外国人研修生の学術集会参加のため、旅費等の助成を行った。

第51回総会 李 少偉 (富山大学医学部 第三内科)
Hoang Hai (大阪市立大学 肝胆膵病態内科学)

2. 定款第4条第2項の規定に基づいて、以下のとおり、教育講演会を開催し、新たに肝臓専門医を認定した。

(1) 教育講演会

名称	期日・会場	会長
前期教育講演会 参加者 713名	平成27年5月23日(土) 熊本市：崇城大学ホール	佐々木 裕 熊本大学生命科学研究部 消化器内科学
単独開催教育講演会 参加者 457名	平成27年8月16日(日) 東京都：砂防会館	田中 榮司 信州大学医学部 内科学第二(消化器内科)
後期教育講演会 参加者 730名	平成27年12月4日(金) 名古屋市：名古屋国際会議場	吉岡 健太郎 藤田保健衛生大学肝胆膵内科

(2) 肝臓専門医制度

- ① 肝臓専門医制度に基づいて、平成27年4月に追加で施設認定、指導医委嘱を行った。
また、平成28年度の施設認定、指導医委嘱を行った。
専門医認定試験は、平成27年11月22日(日) 砂防会館(シェーンバッハ・サボウ)において実施した。 受験者数：405名 合格者数：317名 (合格率78.27%)
- ② 専門医制度改定に関する対応について
関係機関との打合せや委員会などに出席し、情報収集するとともに日本専門医機構に対応した。

(3) 肝がんラジオ波焼灼療法技術認定制度の検討については、未着手である。

3. 定款第4条第3項の規定に基づいて以下の学会への依頼、協力事業を行った。

- (1) 日本小児栄養消化器肝臓学会からの『C型肝炎母児感染小児の診療ガイドライン』(2016年7月公開予定)の作成委員の推薦依頼
統括委員会委員(四柳 宏 評議員)、作成グループ委員(田中 篤 評議員)を推薦した。

(2) 日本医学放射線学会からのガイドライン外部評価依頼

平成 27 年 11 月 12 日医学放射線学会から『画像診断ガイドライン 2016』の外部評価の依頼があった。平成 24 年度の『画像診断ガイドライン』に引き続いての依頼であり、前回と同様、今井 康陽、田妻 進 両評議員に担当を依頼し、平成 28 年 1 月 12 日に回答した。

(3) 日本透析医学会への委員派遣依頼

肝炎診療ガイドライン Ver.5 を作成するにあたり、腎障害・透析例に関して日本透析医学会への協力を求め、委員の委嘱を依頼した。

(4) 日本栄養療法協議会には、滝川 康裕 評議員を構成員として推薦し同団体の活動に参画した。

4. 定款第 4 条第 4 項の規定に基づいて市民公開講座を開催し、各都道府県責任者のもとにおいて肝がん撲滅運動を展開した。

(1) 一般市民の肝臓病に関する啓発のため、厚生労働省の後援を得て、肝臓週間(7 月 27 日～8 月 2 日)の平成 27 年 8 月 2 日(日)に全国 5 ヶ所で市民公開講座を開催し、1,139 人の参加があった。

- 北海道地区 会 場 北海道大学医学部学友会館フラテ 参加者 112人
責任者 坂本 直哉 (北海道大学医学研究科消化器内科学分野)
- 関東地区 会 場 熊谷市立文化センター 参加者 320人
責任者 持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)
- 中部地区 会 場 名古屋市立大学病院 大ホール 参加者 365人
責任者 田中 靖人 (名古屋市立大学医学研究科病態医科学講座)
- 近畿地区 会 場 大阪大学中之島センター佐治敬三ホール 参加者 158人
責任者 竹原 徹郎 (大阪大学医学系研究科消化器内科学)
- 四国地区 会 場 愛媛県医師会館 参加者 184 人
責任者 日浅 陽一 (愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学)

(2) ウイルス肝炎研究財団主催の市民公開講座の開催地及び責任者を推薦した。

- 九州地区 佐々木 裕(熊本大学生命科学研究部消化器内科学)
平成 27 年 11 月 8 日 (日) 熊本市医師会医師会館

(3) ウイルス肝炎研究財団主催のパネルディスカッションを共催した。

平成 27 年 8 月 1 日(土) 旭川市大雪クリスタルホール

(4) 肝がん撲滅運動

各都道府県の責任者が 50 ヶ所で市民公開講座や医療従事者向けの講演会等を開催した。

5. 会議の開催

定款及び定款施行細則等の規定に基づいて、理事会、評議員会(定時総会)を開催するとともに各種委員会を随時開催し、学会の運営等について審議した。

(1) 理事会

第 1 回定例理事会	平成 27 年 5 月 20 日(水)	熊本
第 2 回定例理事会	平成 27 年 10 月 7 日(水)	東京
第 1 回臨時理事会	平成 27 年 12 月 22 日(火)	持回審議
第 2 回臨時理事会	平成 28 年 1 月 29 日(金)	持回審議
第 3 回定例理事会	平成 28 年 3 月 22 日(火)	東京

(2)	定時総会(評議員会)	平成 27 年 5 月 21 日(木)	熊本
(3)	各種委員会		
	財務委員会 第 1 回	平成 27 年 5 月 1 日(金)	東京
	第 2 回	平成 28 年 2 月 18 日(木)	東京
	企画広報委員会 第 1 回	平成 27 年 4 月 20 日(月)	持回審議
	第 2 回	平成 27 年 7 月 8 日(水)	東京
	第 3 回	平成 27 年 7 月 30 日(木)	持回審議
	第 4 回	平成 27 年 12 月 14 日(月)	持回審議
	第 41 回西部会会長インタビュー	平成 27 年 5 月 21 日(木)	熊本
	第 19 回大会長インタビュー	平成 27 年 5 月 22 日(金)	熊本
	第 52 回総会会長インタビュー	平成 27 年 10 月 9 日(金)	東京
	第 3 回肝臓と糖尿病・代謝研究会会長インタビュー	平成 27 年 10 月 10 日(土)	東京
	肝臓診療 GL 改訂統括委員会 第 1 回	平成 27 年 7 月 21 日(火)	東京
	第 2 回	平成 27 年 7 月 29 日(水)	持回審議
	第 3 回	平成 27 年 8 月 4 日(火)	持回審議
	肝臓診療 GL 改訂委員会 第 1 回	平成 27 年 10 月 20 日(火)	東京
	説明会	平成 27 年 12 月 3 日(木)	名古屋
	第 2 回	平成 28 年 2 月 25 日(木)	東京
	肝炎診療 GL 作成委員会	平成 27 年 8 月 26 日(水)	東京
	倫理委員会 第 1 回	平成 27 年 4 月 20 日(月)	持回審議
	第 2 回	平成 28 年 2 月 29 日(月)	持回審議
	評議員選出委員会 第 1 回	平成 27 年 7 月 7 日(火)	東京
	第 2 回	平成 28 年 3 月 1 日(火)	東京
	肝臓と糖尿病・代謝研究会検討委員会	平成 27 年 10 月 9 日(金)	東京
	肝臓と糖尿病・代謝研究会合同委員会	平成 28 年 1 月 24 日(日)	東京
	国際委員会 第 1 回	平成 27 年 9 月 2 日(水)	持回審議
	演題選定委員会		
	第 19 回大会 第 2 回	平成 27 年 5 月 15 日(金)	福岡
	第 52 回総会・第 20 回大会 第 1 回	平成 27 年 6 月 26 日(金)	東京
	第 41 回西部会	平成 27 年 8 月 28 日(金)	名古屋
	第 52 回総会 第 2 回	平成 28 年 2 月 5 日(金)	東京
	第 3 回	平成 28 年 3 月 1 日(火)	持回審議
	欧文誌編集委員会 第 1 回	平成 27 年 5 月 21 日(木)	熊本
	第 2 回	平成 27 年 10 月 9 日(金)	東京
	和文誌編集委員会	平成 28 年 1 月 20 日(水)	東京
	研究助成委員会 第 1 回	平成 27 年 9 月 3 日(木)	東京
	生涯教育委員会 第 1 回	平成 27 年 8 月 27 日(木)	東京
	肝臓専門医制度審議会 第 1 回	平成 27 年 4 月 17 日(金)	東京
	第 2 回	平成 28 年 1 月 12 日(火)	東京

肝臓専門医試験委員会	第1回	平成27年6月17日(水)	東京
	第2回	平成27年7月16日(木)	東京
	第3回	平成27年8月26日(水)	東京
市民公開講座企画検討委員会	第1回	平成27年9月9日(水)	東京
	第2回	平成27年11月25日(水)	持回審議
	第3回	平成28年3月25日(金)	持回審議
肝移植委員会		平成27年10月2日(金)	熊本
脳死肝移植施設認定作業部会		平成27年5月27日(水)	神戸
第4回脳死肝移植新適応評価基準作成WG		平成27年12月15日(火)	東京
男女共同参画委員会		平成27年10月9日(金)	東京
その他 サルコペニア判定基準作成WG		平成27年8月7日(金)	東京
(4) 支部会関係			
東部会世話人会		平成27年10月	持回審議
東部会評議員会		平成27年10月8日(木)	東京
西部会世話人会		平成27年12月2日(木)	名古屋
西部会評議員会		平成27年12月3日(木)	名古屋

6. その他

(1) 平成28年度の評議員(代議員)を選出した。

平成28年4月1日に就任する新たな評議員(代議員)を選出するため、評議員選出委員会を開催し、募集・評価の上、候補者を選出、正会員の信任投票で決定した。

(2) 内規等の整備

学術団体として適正な運営を図るため、定款改正について審議し、各種内規を制定、改正した。定款改正(案)・評議員選出規程(案)は、平成28年度の定時総会に付議することとした。

(3) 他の団体への協力

日本医療事故調査機構「医療事故調査・支援センター」からの協力依頼については、平成28年1月6日「医療事故調査・支援センターが行う医療系学会の協力に関する覚書」を調定し、平成28年3月1日に全国6ブロック(北海道、東北、関東・中部、近畿、中四国、九州)の推薦担当者各1名、計6名、個別調査部会員35名を推薦した。

(4) アンケートシステムの導入

会員を対象にした各種の調査が実施できるようアンケートシステムを整備した。

平成27年5月に男女共同参画委員会、平成28年2月に肝移植委員会で利用した。

(5) 事務局の整備

1名欠員の後任には、派遣職員を導入し、また、『肝臓』編集業務を外注化した。

また、資料等の保管のため4階会議室にキャビネットを設置し、マイナンバー制度対応のために、専用パソコンを購入した。

以上

事業報告の附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書について、事業報告の内容を補足する重要な事項はない。